

2 学 期	<p>C Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle</p> <p>【知】新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、分詞の形容詞的用法や形式目的語it=to不定詞、形式目的語it=that節、<S+V+0+to不定詞>の意味や構造を理解させる。</p> <p>【思】日本の誇れることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。</p> <p>【学】日本の誇れることについて、主体的、自律的に英語で話されることを聞く。</p>	<p>・指導事項 「分詞の形容詞的用法」、「形式目的語it= to不定詞」、「形式目的語it=that節」、「S+V+0+to不定詞」について学習させる。</p> <p>・教材 LANDMARK Fit II ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知】読み取るために必要となる語彙や表現、分詞の形容詞的用法や形式目的語it=to不定詞、形式目的語it=that節、<S+V+0+to不定詞>の意味や構造を理解している。日本の誇れることについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思】日本の誇れることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができる。</p> <p>【学】日本の誇れることについて、主体的、自律的に英語を聞き、話し手に伝えることができる。</p>	○	○	○	19
	定期考査							○	○		1
	<p>D</p> <p>【知】タネの保全のための活動と取組みについて書かれた文章を読み、複合関係代名詞や<S+V+0+現在分詞>、完了形の受動態、<S+V+0+過去分詞>の意味や構造を理解させる。</p> <p>【思】自分の関心のあることや熱中していることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。</p> <p>【学】自分の関心のあることや熱中していることについて、主体的、自律的に英語で話されることを聞く。</p>	<p>・指導事項 「複合関係代名詞」、「S+V+0+現在分詞」、「完了形の受動態」、「S+V+0+過去分詞」について学習させる。</p> <p>・教材 LANDMARK Fit II ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知】文章を読み取るために必要となる語彙や表現、複合関係代名詞や<S+V+0+現在分詞>、完了形の受動態、<S+V+0+過去分詞>の意味や構造を理解している。自分の関心のあることや熱中していることについて書かれている文章を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思】自分の関心のあることや熱中していることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができる。</p> <p>【学】自分の関心のあることや熱中していることについて、主体的、自律的に英語を聞き、話し手に伝えることができる。</p>	○	○	○	19
定期考査								○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1組：長藤・三添）（2組：三添・長藤）（3組：三添・宮崎）（4組：長藤・宮崎）（5組：長藤・三添）

使用教科書：（LANDMARK Fit English CommunicationⅡ）

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 (1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けられるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やまじりに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして詳しく伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語で話されることを聞いたり、読んだり、話したり、書こうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「や 」	話 「発 」	書					
1 学 期	G Lesson 6 Edo: A Sustainable Society 【知】江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読み、前置詞+関係代名詞<前置詞+関係代名詞>や<S+V[使役動詞]+O+過去分詞>、<助動詞+have+過去分詞>、完了形の不定詞の意味や構造を理解させる。 【思】私たちが無駄にしているものについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。 【学】私たちが無駄にしているものについて、主体的、自律的に英語で話されることを聞く。	・指導事項 「前置詞+関係代名詞」、「S+V[使役動詞]+O+過去分詞」、「助動詞+have+過去分詞」、「完了形の不定詞」について学習させる。 ・教材 LANDMARK Fit II ワークブック	○	○	○	○	【知】文章を読み取るために必要となる語彙や表現、前置詞+関係代名詞や<S+V[使役動詞]+O+過去分詞>、<助動詞+have+過去分詞>、完了形の不定詞の意味や構造を理解している。私たちが無駄にしているものについて書かれている文章を読み取る技能を身に付けている。 【思】私たちが無駄にしているものについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができる。 【学】私たちが無駄にしているものについて、主体的、自律的に英語を聞き、話し手に伝えることができる。	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	A Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal 【知】山田周生さんの取組みについて書かれた文章を読み、協調構文や完了形の名詞構文、複合関係副詞、部分否定の意味や構造を理解させる。 【思】住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。 【学】住み続けられるまちづくりのための取組みについて、主体的、自律的に英語で話されることを聞く。	・指導事項 「強調構文」、「完了形の名詞構文」、「複合関係副詞」、「部分否定」について学習させる。 ・教材 LANDMARK Fit II ワークブック	○	○	○	○	【知】文章を読み取るために必要となる語彙や表現、強調構文や完了形の名詞構文、複合関係副詞、部分否定の意味や構造を理解している。住み続けられるまちづくりのための取組みについて書かれている文章を読み取る技能を身に付けている。 【思】住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができる。 【学】住み続けられるまちづくりのための取組みについて、主体的、自律的に英語を聞き、話し手に伝えることができる。	○	○	○	10
定期考査							○	○		1	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語演習

教科：外国語 科目：英語演習

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：松野

使用教科書：（UNITE 英語総合問題集STAGE2.5/ Reading Gym 英語速読テスト 標準編）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】(1)共通テストに向けて読解力・思考力を身につけつつ、語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにつなげる力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】(2)時事に即した社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、論理的に外国語を用いて自分の考えを述べる態度を養う。

科目 英語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、正しく英文を読み解き、問題を解くことができる。目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して文章を読むことができ、話したり書いたりを通して理解を深め、相手に詳しく伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的、論理的に英語で話されることを聞いたり、読んだり、話したり、書こうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
1 学 期	UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 Lesson1, 2, 3 【知】社会的な問題について、既習の文法事項を理解しつつ、聞いたり、読んだりしたことを理解できるようになる。 【思】社会的な問題について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく書いたり、話したりできるようになる。 【学】社会的な問題について、主体的、自律的に英語で話されることを聞き、自分の考えを述べるようになる。	・指導事項 ・精読 ・速読 ・Writing ・Speaking ・Listening 文法事項 文型、時制 ・教材 UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 ・小テストを実施する。 ・毎週適宜課題を出す。	○	○	○	○	○	○	○	○	14
	定期考査						○	○			1
	UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 Lesson4, 5, 6 【知】社会的な問題について、既習の文法事項を理解しつつ、聞いたり、読んだりしたことを理解できるようになる。 【思】社会的な問題について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく書いたり、話したりできるようになる。 【学】社会的な問題について、主体的、自律的に英語で話されることを聞き、自分の考えを述べるようになる。	・指導事項 ・精読 ・速読 ・Writing ・Speaking ・Listening 文法事項 助動詞、受動態、不定詞 ・教材 UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 ・小テストを実施する。 ・毎週適宜課題を出す。	○	○	○	○	○	○	○	○	14
定期考査							○	○			1

2 学 期	UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 Lesson7, 8, 9 【知】 社会的な問題について、既習の文法事項を理解しつつ、聞いたり、読んだりしたことを理解できるようにになる。 【思】 社会的な問題について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく書いたり、話したりできるようにになる。 【学】 社会的な問題について、主体的、自律的に英語で話されることを聞き、自分の考えを述べるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・精読 ・速読 ・Writing ・Speaking ・Listening 文法事項 不定詞、分詞・分詞構文、準動詞 まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・教材 UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 <ul style="list-style-type: none"> ・小テストを実施する。 ・毎週適宜課題を出す。 	○	○	○	○	○	【知】 社会的な問題について、既習の文法事項を理解しつつ、聞いたり、読んだりしたことを理解できる。 【思】 社会的な問題について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく書いたり、話したりできる。 【学】 社会的な問題について、主体的、自律的に英語で話されることを聞き、自分の考えを述べるようになる。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 Lesson10, 11, 12 【知】 社会的な問題について、既習の文法事項を理解しつつ、聞いたり、読んだりしたことを理解できるようにになる。 【思】 社会的な問題について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく書いたり、話したりできるようにになる。 【学】 社会的な問題について、主体的、自律的に英語で話されることを聞き、自分の考えを述べるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・精読 ・速読 ・Writing ・Speaking ・Listening 文法事項 比較、関係詞、 ・教材 UNITE 英語総合問題集STAGE2.5 <ul style="list-style-type: none"> ・小テストを実施する。 ・毎週適宜課題を出す。 	○	○	○	○	○	【知】 社会的な問題について、既習の文法事項を理解しつつ、聞いたり、読んだりしたことを理解できる。 【思】 社会的な問題について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく書いたり、話したりできる。 【学】 社会的な問題について、主体的、自律的に英語で話されることを聞き、自分の考えを述べるようになる。	○	○	○	14
定期考査								○	○		1	

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語

科目：論理・表現 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：坂本

使用教科書：（BIG DIPPER English Logic and Expression 数研出版）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】(1)基本的な文法を学びながら、語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにつなげる力を養う。また、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けられるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】(2)身の回りの話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、論理的に外国語を用いて自分の考えを述べる態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身につけている。	目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして詳しく伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、英語の表現を通して、それに対応する日本語の表現の本質的な意味などに対する理解を深めようとしている。 ペアワーク等の活動に積極的に取り組んでいる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
1 学 期	<p>【知】身の回りの物事について、既習の文法事項を用いながら書いたり、話したりできるようになる。</p> <p>【思】身の回りの物事について、情報や自分の考えを論理性に注意しながら、詳しく書いたり、話すことができるようになる。</p> <p>【学】身の回りの物事について、積極的に自分の考えを述べたり、相手の意見を聞くことができるようになる。</p>	<p>・指導事項 英文の基本構造（主語＋動詞＋…）／itの用法 適切な動詞を用いた表現／there is 構文 名詞（可算・不可算）／冠詞 ① is/is not[isn' t]/don' t, etc. ② Is ~?/Does ~?/Where ~?, etc. ③ 現在形と現在進行形 ④ 過去形と過去進行形 ⑤ will [単純未来・意志未来] ⑥ be doing/be going to do ⑦ 現在完了（進行形） ⑧ 過去完了（進行形）</p>	○	○	○	○	○				14
	定期考査							○	○		1
1 学 期	<p>【知】身の回りの物事について、既習の文法事項を用いながら書いたり、話したりできるようになる。</p> <p>【思】身の回りの物事について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。</p> <p>【学】身の回りの物事について、積極的に自分の考えを述べたり、相手の意見を聞くことができるようになる。</p>	<p>・指導事項 ① can/may [可能・許可] ② may/must/can' t [推量] ③ should/must [提案・義務、必要] ④ 助動詞＋have＋過去分詞 ⑤ (SVC) / (SVO) ⑥ (SVOO) / (SVOC) ⑦ be動詞＋過去分詞 ⑧ be known to/be satisfied with, etc. ⑨ 名詞的用法 ⑩ how to do/形容詞的用法 ⑪ 副詞的用法 ⑫ ask ~ to do /see[let] ~ do [原形不定詞], etc. ⑬ 名詞的用法/意味上の主語 ⑭ to-不定詞と動名詞 ⑮ 形容詞的用法 ⑯ SV＋分詞/SVO＋分詞</p>	○	○	○	○	○				15
	定期考査							○	○		1

<p>【知】身の回りの物事について、既習の文法事項を用いながら書いたり、話したりできるようになる。</p> <p>【思】身の回りの物事について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。</p> <p>【学】身の回りの物事について、積極的に自分の考えを述べたり、相手の意見を聞くことができるようになる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>① as ~ as ... / not as ~ as ...</p> <p>② ~er than ... / more ~ than ...</p> <p>① the ~est / the most ~</p> <p>② twice as ~ as ... / as ~ as one can, etc.</p> <p>① who, which [主格]</p> <p>② whom, which [目的格]</p> <p>① what / what we call, etc.</p> <p>② where, when, etc. [関係副詞]</p> <p>①比較・対照 ②原因・結果</p> <p>③情報・内容の付加</p> <p>① 仮定法過去 / 仮定法過去完了</p> <p>② I wish + 仮定法</p> <p>① 名詞節を導く that, if [whether]</p> <p>② 副詞節を導く when, because, if</p> <p>① Would you like to ~? / Let's ~</p> <p>② Shall we ~?</p> <p>③ Why don't we ~? ④ How about ~?</p> <p>① Will you ~? / Can you ~?</p> <p>② Could you ~?</p> <p>③ Why ~? / Because....</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】身の回りの物事について、既習の文法事項を用いながら書いたり話したりすることができる。</p> <p>【思】身の回りの物事について、情報や自分の考えを論理性に注意しながら詳しく書いたり話したりすることができる。</p> <p>【学】身の回りの物事について、積極的に自分の考えを述べたり、相手の意見を聞くことができる。</p>	○	○	○	16
定期考査								○	○		1
<p>【知】身の回りの物事について、既習の文法事項を用いながら書いたり、話したりできるようになる。</p> <p>【思】身の回りの物事について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話すことができるようになる。</p> <p>【学】身の回りの物事について、積極的に自分の考えを述べたり、相手の意見を聞くことができるようになる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>① ~, don't you?, etc.</p> <p>② actually</p> <p>③ You mean ~?</p> <p>① What's the matter? / You'd better ~</p> <p>② I think you should ~, etc.</p> <p>① need to ~ ② (don't) have to ~</p> <p>③ be supposed to ~</p> <p>① can't wait to ~</p> <p>② look forward to ~</p> <p>③ be certain[sure] ~</p> <p>① Excuse me for ~ / That's OK.</p> <p>② I'm (really) sorry ~, it's nothing, etc.</p> <p>① be planning to ~ / be going to ~</p> <p>② be thinking of ~ ③ be ~ing</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】身の回りの物事について、既習の文法事項を用いながら書いたり話したりすることができる。</p> <p>【思】身の回りの物事について、情報や自分の考えを論理性に注意しながら詳しく書いたり話したりすることができる。</p> <p>【学】身の回りの物事について、積極的に自分の考えを述べたり、相手の意見を聞くことができる。</p>	○	○	○	16
定期考査								○	○		1

